

大阪市保育運動連絡会ニュース

大阪府中央区 7 丁目 2-202

TEL 06-6763-4382 FAX 06-6763-3593

2024 年 4 月 発行

ご入園・ご進級おめでとうございます。

保育園は大好きな友だちが見つかり、安心して過ごせる場所！

私たち大人もつながりましょう！

ご入園おめでとうございます。

色とりどりの花が咲きよいよ保育園生活がはじ
まります。いろんなことが初めての生活は、保護者の
方にとっても、子どもたちにとっても不安と期待の連
続です。

保育園は、子どもたちが大好きな先生、大好きな遊
びや、大好きな友達が見つかり安心して過ごせる場所
です。また、保護者の方にとっては、子どもの元気な
姿に励まされ、子育ての大変さを一人で背をわな
い、子育て仲間と繋がる場所です。子どもたちは、
すぐお友達になるのが上手です。私たち大人も手をつ
ながれたらいいですね。

時代は、デジタル化となりつつありますが、対面
かかわることの大切さや、人と人のつながりは、成長
には欠かせないことがコロナを通して改めてわかり
ました。

保育園生活を子どもたちとともに楽しんでくださ
い。もちろん保育園職員みんなは、保育園生活を安心
して過ごせるように、そして、何よりも、保護者の皆
さんと子どもたちの成長を喜び合いたいと思ってい
ます。ようこそ！保育園へ

西成区 どんぐり保育園 園長 中山 清子

月刊誌「ちいさいなかま」の紹介



「タブレットを活用して 文字を大きくして読んでいます」

「ちいなか」はちいさい雑誌ですが、私にとってはとても大
きな存在の雑誌です。保育に迷いや悩んだ時にふと、「ちいな
か」を手にとる自分があります。特に「読者のページ」が好きで、
全国の保育士や保護者の方々のいろんな感想や意見を知ること
ができ、読んでいて楽しいです。私自身、小さな活字が読み
にくい年齢に達してしまいましたが、タブレットを活用して、
読みたいページをスキャンして文字を拡大することで快適な
読書環境となり、通勤電車の中でよく読んでいます。

年度末には未購読だった保育者や、自分の担当クラスの保護
者の方に見本誌片手にちょっと踏み込んでちいなかをすす
めてみた結果、ちいさいなかまの「読者なかま」が 4 名も増え
ました。すでに購読されている方は、ぜひ見本誌片手にちいな
かの魅力を語ってみましょう。まだ購読されていない方は、ま
ずは見本誌を読んでみて、ちいなかの存在を知ってください。

中央区 あゆみ保育園 保育士 橘波 千恵子

「まっちゃんとあそぼう!! つながりあそび」

城東区 すみれ保育園 保育士 植田菜月

城東保育運動連絡会の企画で、「親子でつながるイベント」を
4 年ぶりに行いました。

4 月 12 日に保育者向け、13 日に親子で楽しめる「まっ
ちゃんとあそぼう!!」として町田浩志さん、美幸さんをお招きし、す
みれ保育園のホールで両日ともに、たくさんのつながりあそびを
学ぶことができました。繰り返しで覚えやすい歌を歌いながら、
誰も 1 人にしないやりとりに保育者も、また参加された保護者
の方も自然と笑顔で過ごすことができました。保育者向けの会
では、「間違ってもいいんだよ」という話がありました。保育にお
いて正解はなく、「これでいいのかな」と思うことがありますが、
やりたいことを全力で楽しんでやっていこうと感じました。



「統一行動や学習会に取り組み保育の願いを広げながら署名を集めました」

今年度の秋の大運動も保育と学童保育の願いを署名にして、60000万筆目標で署名をスタートさせました。10/12の署名スタート集会では保育や学童保育の現状を学習してから11/12には扇町公園とてんしばで署名統一行動を開催して、40人の参加で253筆の署名を集めることが出来ました。コロナが5類になって初めての署名だったこともあり、各地域でも独自で統一行動や学童現場の現状や願いを広げながら署名を集めました。



1/31には大阪市へ去年度より10000筆ほど多い53471筆の署名を提出することが出来ました。

国の方では4,5歳児の配置基準が75年ぶりに改善されたり、大阪市でも0-2歳児の保育料無償化などに予算が付いたり、署名を通して広げてきた願いが少しずつ実現し、制度などの改善につながり始めていると感じることが出来る秋の大運動となりました。



住吉区 こぐま保育園 保育士 吉川 真

自治体キャラバンに参加して

今年度、社会福祉経営全国会議大阪支部の会議で情報交換をする中、大阪府内の保育園は市町村によって、補助金や施策に違いがあることを知りました。「これらの情報をみんなで共有して、次の運動へ繋げていけたら、いいよね。」という思いで園長、管理職も大阪府内の自治体キャラバンに積極的に参加していこうとなり、私は今回初めて、地元の大阪市のキャラバンに参加させていただきました。

大阪市が令和5年度から始めた保育士定着支援事業(5〜7年目、10年目、15年目、20年目25年目以上職員に一時金を支給)は「どういふいきさつで始まったのか?」「何故、保育士だけなのか?」「保育園は保育士だけではなく給食の先生も保育園の中では重要な役割を果たしているのに保育士だけなのはどうしてなのか?」「こども誰でも通園制度」の試行的事業に手をあげたのはどうしてなのか?」「一時預かり事業ではだめなのか?」など疑問に思っていたことを直接、聞くことができました。「私の聞きたかったことそれぞれ」と思う場面もあり、私の言葉足らずの質問では、大保連の方のフォローをもらいわかりやすく相手に伝えてもらうことも出来て、とても心強く感じました。ただ、大阪市の回答を聞いて「現場実態をよく理解しないで行っているんだな」「もっと伝えていかないといけない」と実感しました。

中央区 あゆみ東保育園 園長 古川 由美

自治体キャラバンとは

秋の大運動の一環として10月~11月にかけて、大阪府内全ての市町村保育・学童保育担当課と懇談する活動です。毎年、行っています。

社会福祉経営全国会議大阪支部とは

2023年5月に発足しました。現在、府内48カ所の社会福祉法人が加盟しています。福祉によるまちづくりを基本理念として住民や地域団体と協力して地域の福祉推進にむけた活動をしていま

絵本紹介

「おおかみのでんわ」

せなけいこ作/絵 金の星社



ぼくがいうことをきかないと おかあさんはすぐにでんわをするんだ。「もしもしおおかみさん! わるいこがいます。すぐにつれていってください。」と始まります。人間の世界とオオカミの世界が絵本の中で描かれ、オオカミの世界では悪いことをすると人間を呼びますよとオオカミの子どもが言われています。

そんな人間の子とオオカミの子どもが出会い、遊んでいくうちにお互いにそれぞれの家の事情を話して仲良くなっていきます。絵本の題名が「おおかみのでんわ」とあるように電話で人間の世界とオオカミの世界がつながっています。以前、担任をした3歳児クラスの子供たちが大好きな絵本でした。「オオカミ」、「オバケ」ちょっと怖いものが大好きになったら楽しめる絵本です。

大阪市役所労働組合福祉支部

今後の予定

- ☆「第54回みんなで保育・子育てを考える集会」
6月2日(日)
午前の部 10時~11時45分
午後の部 13時30分~15時30分
○ 記念講演: 熊丸 みつ子さん
- ☆「大阪市保育運動連絡会第37回総会」
6月14日(金)
午後18時30分~20時30分
場所: 大阪保育運動センター(オンライン併用)
○ お話: 平松 知子先生
- ☆「第56回全国保育団体合同研究集会」
7月27日(土)~29日(月) in 熊本
○ 記念講演: 安田 菜津紀さん